

## 「女性の過ごしやすい社会にするにはどうすればいいのか」

3年3組36番 横路 茉桜

3年1組20番 西岡 紗良

Keyword: 「女性社会」「男女賃金格差」

## 1. 研究の背景

女性が過ごしやすい社会にするためにどうすればいいのか」を研究しようと思った動機について述べる。日頃SNSやテレビ、新聞記事等で女性たちの主に育児や社会に対する不満をよく目にしており、これからの将来に不安を感じる機会が多かったことから、現在の女性を悩ます問題について知りたくなったからである。また、私たち世代や私たちより下の世代がこれから仕事や子育てをしていく上で、現在の女性に関する社会問題について詳しく知ることは、私たちのためにもなると考えるため、このテーマについて論ずる。様々な種類の全国データ(全国データ SDGsと日本～誰もとり残されないための人間の安全保障指標～)を見る中で、女性の問題について解決しないといけないと思うことが現代の日本にはたくさんあることに気づいた。そこでまずは自分たちで、女性が過ごしやすい社会にするために必要なことや、解決すべき問題点を考えた。

## 2. 先行研究の検討

男女差別や女性差別がなくならないこの状況下では、「誰の言葉も鵜呑みにするな」(ジャック・フレミング, 2018)は、世界の男女差別を作り上げてきた人間の行動である。この本は、19世紀の女性たちがいかにバカバカしい迷信と固定観念に苦しめられながら生きていたのかを記した、イギリス発のジェンダー絵本である。笑うに笑えない、19世紀ヴィクトリア朝の「大問題」な女性観。何をすることも「問題」があると決めつけられ、自由に生きることが出来なかった「歴史のゴミ箱」に捨てられた女性たちをすくい上げる作品である。

## 3. 独自研究

まずはじめに世の中の女性たちがどのようなことに生きづらさを感じていたり、これからの将来について考えているのかを知るために、身の回りの女性たちの声を聞き、知ろうと思ったのでアンケートを作成した。そこで私たちの1番身近にいる学校の女性の先生方にアンケートにご協力いただき、データを集めた。具体的な質問の内容は勤務形態や、勤続年数、結婚についてなどであった。

アンケートで得られた結果から、人によって、結婚のこと、管理職のこと、出産後の仕事復帰について、さまざまな考えを持っていることが分かった。その中の1つに、「出産をした後、仕事復帰を考えているが、管理職につきたいとは考えていない」という意見があった。記述式の質問には、人それぞれの意見があり、私たちには分からない、働いている女性だからこそその意見をこのアンケートで得ることができた。

## 4. 結論と今後の課題

このアンケートの意見から私たちは、女性が過ごしやすい社会を作るにはどうすればいいかを考え直した。まず、人によって過ごしやすい社会の基準が違うということ、仕事での立場や社会での立場が人によって異なることから、全員が過ごしやすいと思える社会を作るのは難しいことが考えられる。今回のアンケートは、学校の先生対象にしかできなかったもので、生徒の親御さんにも協力をすることができていたら、より多くの意見や情報を得られたらと思う。

主な参考文献

ジャッキー・フレミング『THE TROUBLE WITH WOMEN 問題だらけの女性たち』河出書房新社、  
2018

全国データ SDGsと日本～誰もとり残されないための人間の安全保障指標～